

(第151回)環境サロン

人口減少と持続可能性

日時 2022年12月21日(水) 17:30 ~ 19:00

講演者 寺本 剛 氏 <中央大学理工学部教授>

開催方式 オンライン(定数50名)

参加費 無料(定員を超える参加希望者がある場合は、本センター会員を優先させていただきます)

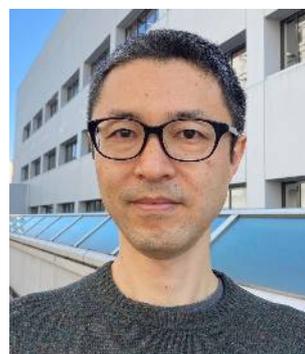
機関誌「環境情報科学」の51巻3号(2022年9月発行)において、「人口減少へ向かう人類社会とサステナビリティ研究」と題した特集が生まれ、ここでは人類社会が人口減少・縮小社会へ転換することが、サステナビリティ研究にとって何を意味し、転換へのどのような「備え」が必要なのかを論じられた。

気候変動や生物多様性、資源循環に対して、多大な影響を与える共通の駆動力である人口減少問題について、本環境サロンでは著者のお一人である中央大学理工学部教授の寺本 剛 氏をお招きし、人口減少社会と持続可能性について、ご寄稿論文の内容を掘り下げてご紹介いただき、参加者の皆様との意見交換を行います。

□ 講演者プロフィール □

寺本 剛 (てらもと つよし) 氏

中央大学大学院文学研究科博士後期課程修了(博士(哲学))。中央大学理工学部教授。主著に「人口減少社会において持続可能な開発は有効な概念か」(『環境情報科学』51巻3号、一般社団法人 環境情報科学センター、2022年)、『環境倫理学 (3STEP シリーズ)』(吉永明弘・寺本剛編、昭和堂、2020年)、「放射性廃棄物と世代間倫理」(吉永明弘・福永真弓編著、『未来の環境倫理学』、第3章、勁草書房、2018年)、などがある。また、翻訳書にクリスティン・シュレーダー=フレチェット『環境正義：平等とデモクラシーの倫理学』(奥田太郎・寺本剛・吉永明弘監訳、勁草書房、2022年)、ポール・B・トンプソン、パトリシア・E・ノリス『持続可能性：みんなが知っておくべきこと』(寺本剛訳、勁草書房、2022年)がある。



■参加申込み方法：以下フォームよりお申込みください。

<https://ws.formzu.net/fgen/S591427157/> (外部サイトへ移動します)

(一社)環境情報科学センター 環境サロン係
E-mail:member-jimukyoku@ceis.or.jp / Tel.03-3265-3916

※お申込みいただいた方にオンライン会議情報を開催の前日までにメールにてご案内します